

日本鐵鋼協會記事

昭和 25 年度第 12 回理事會 日時：25—11—8 (水) 16 時 30 分～19 時，會場：協會々議室，出席者：(會長) 田中清治 (副會長) 富山英太郎 (理事) 繪野澤喜之助，太田慶藏，岡本正三 (前會長) 俵 國一，吉川晴十 (監事) 笹部 誠 (常務委員) 石田四郎，石原善雄，俵 信次 (研究部會委員長) 里村伸二，代理 石田 稔 (主事) 金谷三松

報告事項 I 第 5 回東京地方講演會 日時：25—10—19 (木) 13 時～16 時，會場：東京大學第一工學部第 2 號館大講堂，出席者：200 名，講演：(1) 米國鐵鋼視察餘談 (1 時間) 日本化成工業 K.K. 常務取締役 佐藤止戈夫君，(2) 歐米の鐵鋼業について (1 時間) K.K. 尾崎製鋼所常務取締役 市田左右一君，(3) 質疑應答 (1 時間)。

II. 第 8 回編集委員會 日時：25—10—24 (火) 16 時 30 分～20 時，會場：協會々議室，出席者：(理事) 芥川武君，岡本正三君，(常務委員) 菊池浩介君，俵信次君，(編集委員) 内山道良君，長谷川正義君，濱本甲子生君，安田洋一君，山本正義君，吉田道一君，吉崎鴻造君，(主事) 金谷三松。報告 (1) 昭和 25 年 9 月號は 9 月 30 日竣成發送すみ (双文社) (2) 同 10 月號は 10 月 30 日竣成の豫定 (双文社) (3) 抄録依頼先より受諾回答—高尾善一郎君 (神鋼)，遠藤勝治郎君 (八幡)，關口春次郎君 (名大)，松下幸雄君 (東大二工)，三橋鐵太郎君 (機械試驗場) 以上承諾協議 (1) 昭和 26 年 1 月號原稿選定の件，(2) 技術資料原稿資料の件決定，出來上り 1 頁 300 圓を贈呈のこととす。(3) 日本工學會より照會の下記事項に對する回答の件，a. 最近二ケ年間に於ける貴會分野の進歩並に趨勢 (會長へ御依頼すること)，b. 最近二ケ年間に於ける優秀論文の著者と表題の名稱 (次回迄に調査持寄り詮議のこと) (4) 投稿規程を改正すること。決定 a. 一人一回の投稿紙數を 400 字詰 15 頁と圖表若干に定める。b. 原稿用紙を協會で作り販賣すること。c. 上記原稿用紙は 30 枚のバッドとすること。

III. 第 3 回工業技術研究發表會に於ける本會推薦講演 25—10—22 (日) 11 時 45 分～12 時 15 分，東大第一工學部第 1 號館 14 號教室にて，交流磁力選鐵について，日本磁力選鐵 K.K. 原田源三郎君，出席者 50 名。

IV. 極東貿易會社幹旋「平爐用耐火煉瓦特にベーシック煉瓦について」の座談會 日時：25—10—30 (月)，13 時 30 分～16 時，場所：中央區銀座 2 丁目 ニュウギンザ，出席者：(會長) 田中 清治君 (副會長) 富山英太郎君 (理事) 太田慶藏君，芥川武君 (研究部會委員長) 大原久之君 (招待者) 舟田四郎君 (日鋼)，六城雅悌君 (鐵鋼局)，香田進君 (鐵鋼局)，志村清次郎君 (東京鋼材)，馬場狂介君 (日本製鋼)，伊木常世君 (東都製鋼)，神田一男君 (神鋼)，鳥羽亮一君 (新扶桑)，池田正君 (八幡)，成廣清士君 (富士鐵)，柳原道行君 (富士鐵)，須賀吉吉君 (播磨耐火)，酒井重雅君 (日鋼・川崎)，若林專三君 (日鋼・川崎)，市川禎吾君 (日鋼・鶴見)，三宅川隆君 (東京鋼材)，主人側 Mr. Robert G. Abbey, Assit. to Vice-President, General Refractories Co. 外 3 名。

協議事項 I. 關西支部より昭和 25 年度補助金の一部請求の件承認，請求を俟つて支給のこと。II. 酸素製鋼法 200 冊分配の件決定。鋼鐵連盟にて既配のもの以外の本會維持會員及び役員並に研究部會委員長へ配付のこと。III. 松下幸雄君 (東京大學第 2 工學部) を編集委員に，西村吉太郎君 (八幡・技術部) 及び石田稔君 (富士鐵) を常務委員に依頼の件，承認。IV. 陽和不動産 K.K. より借室の一部返還申越の件，尙ほ研究の上回答を要す。V. 會誌交換又は寄贈の件，決定。米國々會圖書館へ寄贈のこと，その他は見合せのこと。VI. 入退會及び會員異動の件承認，VII. 昭和 25 年 10 月收支決算審議の件承認。